



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場会社名 第一実業株式会社 上場取引所 東
コード番号 8059 URL <http://www.djk.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山片 康司
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 秀樹 TEL (03)5214-8560
四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年11月26日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家およびアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	61,514	3.3	2,067	△8.0	2,318	△7.9	1,292	28.7
24年3月期第2四半期	59,542	18.6	2,246	30.2	2,515	37.9	1,004	0.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,101百万円(△1.1%) 24年3月期第2四半期 1,114百万円(122.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	24	58	24	44
24年3月期第2四半期	19	22	19	13

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第2四半期	74,245		26,830		35.1	
24年3月期	83,759		26,167		30.5	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 26,044百万円 24年3月期 25,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00	
25年3月期	—	8.00				
25年3月期(予想)			—	8.00	16.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	133,000	6.0	5,300	4.0	5,500	1.2	3,100	17.3	58	95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	55,432,000株	24年3月期	55,432,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	2,835,780株	24年3月期	2,866,941株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	52,579,411株	24年3月期2Q	52,225,648株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成24年11月27日（火）に機関投資家およびアナリスト向けに決算説明会の開催を予定しております。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)におけるわが国経済は、震災復興需要を背景に緩やかな回復傾向が見られましたが、長引く欧州債務危機と中国を中心とした新興国経済の減速、円高やデフレの継続、領土問題による日中関係の悪化等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、海外法人におけるIT・デジタル関連機器および車載関連機器の製造装置等の売上が好調に推移したほか、エンジニアリング会社経由の海外向けプラント設備の大口売上計上があったため、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前第2四半期連結累計期間と比べて1,972百万円増の61,514百万円(前年同期比3.3%増)となりました。また、営業利益は179百万円減の2,067百万円(前年同期比8.0%減)、経常利益は197百万円減の2,318百万円(前年同期比7.9%減)となりました。四半期純利益は、前年同期に上場株式に係る株式評価損の計上等があったことにより、288百万円増の1,292百万円(前年同期比28.7%増)となりました。

報告セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

プラント・エネルギー事業

エンジニアリング会社経由の海外向け液化天然ガスパラント設備や化学会社向け高吸水性樹脂プラント設備の大口売上計上があったことにより、売上高は2,475百万円増の16,304百万円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益(営業利益)は183百万円増の731百万円(前年同期比33.4%増)となりました。

エレクトロニクス事業

中国・韓国を中心としたIT・デジタル関連機器製造会社向けの電子部品実装機等の需要が減少したため、売上高は4,633百万円減の15,775百万円(前年同期比22.7%減)、セグメント利益(営業利益)は234百万円減の869百万円(前年同期比21.2%減)となりました。

産業機械事業

海外を中心に自動車関連業界向けの設備の需要が好調で、売上高は501百万円増の16,314百万円(前年同期比3.2%増)となりましたが、セグメント利益(営業利益)は63百万円減の974百万円(前年同期比6.1%減)となりました。

海外法人

アジア地域における半導体実装装置関連および自動車関連業界向けの設備の販売が好調でありました。その結果、売上高は3,207百万円増の11,273百万円(前年同期比39.8%増)、セグメント利益(営業利益)は55百万円増の560百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、9,513百万円減少の74,245百万円となりました。これは主に、売上債権の回収に伴い受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

負債合計は、10,175百万円減少の47,415百万円となりました。これは主に、仕入債務の支払いに伴う支払手形及び買掛金の減少や短期借入金の返済によるものであります。

純資産合計は、662百万円増加の26,830百万円となりました。これは主に、配当金の支払いやその他有価証券評価差額金の減少があったものの、四半期純利益1,292百万円を計上したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、218百万円増加し、13,823百万円(前年同期比5,552百万円増)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の回収やプラント関連の前受金の増加などがあったため、10,048百万円の増加(前年同期比12,035百万円増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより86百万円の減少(前年同期比113百万円増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済や配当金の支払いなどにより9,715百万円の減少(前年同期比8,352百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績は、海外法人におけるIT・デジタル関連機器や車載関連機器等の需要が引き続き好調であり、概ね予定どおりに推移しております。平成25年3月期通期の連結業績予想は、平成24年5月11日に公表した内容に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,604	13,823
受取手形及び売掛金	42,809	32,978
商品及び製品	7,951	7,324
仕掛品	905	1,163
原材料及び貯蔵品	300	297
前渡金	7,056	7,736
繰延税金資産	715	600
その他	2,589	2,936
貸倒引当金	△112	△90
流動資産合計	75,821	66,770
固定資産		
有形固定資産	1,784	1,758
無形固定資産	83	83
投資その他の資産		
投資有価証券	5,146	4,679
その他	1,256	1,281
貸倒引当金	△333	△327
投資その他の資産合計	6,070	5,633
固定資産合計	7,937	7,475
資産合計	83,759	74,245
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,193	28,987
短期借入金	14,884	5,572
未払法人税等	1,702	578
前受金	7,891	9,878
引当金	1,350	1,136
その他	943	748
流動負債合計	56,965	46,902
固定負債		
繰延税金負債	67	7
引当金	283	233
その他	274	272
固定負債合計	625	513
負債合計	57,591	47,415

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,105	5,105
資本剰余金	3,786	3,786
利益剰余金	18,063	18,933
自己株式	△1,214	△1,200
株主資本合計	25,740	26,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	343	48
繰延ヘッジ損益	△0	△22
為替換算調整勘定	△577	△604
その他の包括利益累計額合計	△234	△579
新株予約権	100	106
少数株主持分	560	678
純資産合計	26,167	26,830
負債純資産合計	83,759	74,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	59,542	61,514
売上原価	51,700	53,384
売上総利益	7,841	8,130
販売費及び一般管理費	5,594	6,062
営業利益	2,246	2,067
営業外収益		
受取利息	22	16
受取配当金	61	55
為替差益	91	93
仕入割引	109	103
持分法による投資利益	40	57
その他	41	54
営業外収益合計	365	380
営業外費用		
支払利息	34	45
支払手数料	30	32
売掛金譲渡費用	1	32
その他	30	19
営業外費用合計	96	129
経常利益	2,515	2,318
特別利益		
固定資産売却益	0	1
その他	—	0
特別利益合計	0	1
特別損失		
投資有価証券評価損	551	65
関係会社整理損	160	—
その他	0	4
特別損失合計	712	70
税金等調整前四半期純利益	1,803	2,249
法人税、住民税及び事業税	573	656
法人税等調整額	128	147
法人税等合計	702	803
少数株主損益調整前四半期純利益	1,101	1,446
少数株主利益	97	153
四半期純利益	1,004	1,292

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,101	1,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149	△295
繰延ヘッジ損益	△32	△22
為替換算調整勘定	△103	△22
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△4
その他の包括利益合計	12	△344
四半期包括利益	1,114	1,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,066	983
少数株主に係る四半期包括利益	47	117

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,803	2,249
減価償却費	177	154
株式報酬費用	21	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29	△24
引当金の増減額(△は減少)	△377	△263
受取利息及び受取配当金	△83	△71
支払利息	34	45
固定資産除売却損益(△は益)	△0	3
投資有価証券評価損益(△は益)	551	65
関係会社整理損	160	—
持分法による投資損益(△は益)	△40	△57
売上債権の増減額(△は増加)	418	9,755
前渡金の増減額(△は増加)	△1,558	△753
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,574	335
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△418	△299
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,650	△1,088
前受金の増減額(△は減少)	271	2,085
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△150	△160
その他の固定負債の増減額(△は減少)	187	△5
その他	△294	△183
小計	△403	11,795
利息及び配当金の受取額	86	74
利息の支払額	△33	△42
法人税等の支払額	△1,636	△1,778
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,987	10,048
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	39	—
有形固定資産の取得による支出	△244	△71
有形固定資産の売却による収入	4	6
無形固定資産の取得による支出	△19	△5
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
貸付けによる支出	△12	△43
貸付金の回収による収入	44	44
その他	△1	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△200	△86

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△937	△9,220
長期借入金の返済による支出	△75	△76
自己株式の取得による支出	△2	△1
自己株式の売却による収入	—	0
ストックオプションの行使による収入	74	10
配当金の支払額	△417	△419
その他	△4	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,362	△9,715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57	△27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,607	218
現金及び現金同等物の期首残高	11,878	13,604
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,270	13,823

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	プラン ト・エネ ルギー 事業	エレク トロニクス 事業	産業機械 事業	海外法人	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,829	20,408	15,812	8,066	58,117	1,425	59,542	—	59,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	505	1,322	1,974	3,933	7,736	1,366	9,102	△9,102	—
計	14,334	21,731	17,787	11,999	65,853	2,791	68,644	△9,102	59,542
セグメント利益	548	1,103	1,038	504	3,195	353	3,549	△1,302	2,246

注1「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸や保守・点検、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,302百万円には、セグメント間取引消去27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,312百万円、たな卸資産の調整額△22百万円およびその他の調整額4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	プラン ト・エネ ルギー 事業	エレク トロニクス 事業	産業機械 事業	海外法人	計				
売上高									
外部顧客への売上高	16,304	15,775	16,314	11,273	59,668	1,846	61,514	—	61,514
セグメント間の内部 売上高又は振替高	448	2,162	986	4,775	8,373	1,265	9,639	△9,639	—
計	16,753	17,938	17,300	16,049	68,041	3,112	71,153	△9,639	61,514
セグメント利益	731	869	974	560	3,136	275	3,411	△1,343	2,067

注1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸や保守・点検、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,343百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,382百万円、たな卸資産の調整額10百万円およびその他の調整額17百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。